

# ロジカルシンキング研修

ロジックツリー作成ワークを繰り返し、業務で活用できるように「徹底的に論理思考に慣れる！」

## 本研修の概要

ロジカルシンキング（論理思考）とは、物事を客観的に捉え、構造を理解し、正確な判断を行い、望ましい結論を導き出すための基本であり、すべてのビジネスパーソンに求められるものです。問題発見・解決、企画提案、対人コミュニケーションなど、様々な場面で有効に活用できます。本研修では、ロジカルシンキングの根底となる「ロジックツリー」の作成演習に繰り返し取り組み、日常的にロジックツリーを活用して考える・伝えることに慣れるようにしていきます。

## 受講対象・人数

管理職層、中堅リーダー層、若手・新人層、内定者

※最大で40名程度

※次世代経営層や管理職など、幅広い層で実施実績あり

## 所要時間

7時間30分程度（昼食休憩60分含む）

プログラムを若干圧縮して、午後のみ（5時間程度）の研修として開催することも可能です。お気軽にご相談ください。

## プログラム例

### 第1章 ロジカルシンキングとは

ロジカルシンキングが有効な場面

### 第2章 ロジックツリーで考える

ロジックツリーとは？

ワーク／身近な題材でロジックツリーを作ってみよう

### 第3章 「縦の関係性」5つの関係性

要素の因果関係を考える、上の階層・下の階層を整理する  
ワーク／5つの関係性

### 第4章 「横の関係性」MECE

MECE 3つの種類

ワーク／様々なパターンのMECEを考える

### 第5章 ロジックツリーを作る

ワーク／ロジックツリー作成

「アンケートのレポート」「顧客の分類分析」

### 第6章 ロジカルシンキング実践に向けて

ロジカルシンキングの落とし穴 論理と感情  
日常生活での実践の仕方

# ロジカルシンキング研修

ロジックツリー作成ワークを繰り返し、業務で活用できるように「徹底的に論理思考に慣れる！」

## コンテンツイメージ

## 受講者の声

### ③「全体と部分」のロジックツリー

会社の組織図などが代表例。営業部は、各営業Gから構成される、営業Gは各営業チームから構成されるという形で、全体を構成する部分を分解していく形に整理できます。



MECEが大事と言われても、いきなり実践するのは難しいです。そのため、MECEには3つの種類があることを覚えておきましょう。

### MECE 3つの種類

- ① 数直線型
- ② 対立軸型
- ③ 慣用型



3つの種類のMECEを活用できれば、「モレなく、ダブリなく」をスピーディーに考えることができます。

知識のインプットだけで終わらない、実践的な研修でとても役に立ちました。自分の思考が思った以上に固かったことを実感して、ロジカルシンキングを学べて良かったと思いました。

論理的に考えることが本当に苦手だったのですが、考えやすい簡単なテーマからロジックツリー作成に取り組むことができ、私でもついていけたので、とてもやる気が出ました。また、講師の方の説明も非常にわかりやすく、私が独り言のようにこぼした疑問にも丁寧に答えてくれたことが嬉しかったです。

《ワークII》  
5つの「縦の関係性」にもとづきロジックツリーを作ってみましょう。



飲食店における顧客の分類を行う場合に、MECEを考えてみましょう。

顧客を「家族連れ」と「常連客」という2つのグループに分けてみました。この分け方はMECEだと思いますか？



### 飲食店における顧客の分類



仕事があまくいなくても、ただ反省するばかりで、原因や対策を論理的に考えられていなかったことに気づきました。今後はまず、売上が上がらない原因を解明するために、ロジックツリーを活用したいと思います。

何か発言するとき、「結論」は明確に持っていても、「根拠」までは整理できていなかったと感じました。今後はロジックツリーを活用して、「根拠」も明確に示せるようになります。